

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome

2009年頃より中国において発生が報告され、2011年に初めて原因ウイルス(SFTS ウイルス)が特定された、新しいダニ媒介性疾患です。国内では、2013年に初めて発生が報告されました。

どのように感染するの？

ダニの中でも、吸血するマダニ(※)と言われるダニによって媒介されます。ウイルスをもったマダニに咬まれることで感染します。マダニは主に森林や草地等の屋外に生息しており、市街地周辺でも見られます。患者に最近の海外渡航歴はなかったため、日本国内でウイルスに感染したと考えられます。

※マダニについて

マダニ類は、固い外皮に覆われた比較的大型(吸血前で3~4mm)のダニで、広くアジアやオセアニアに分布しますが、日本でも全国的に分布しています。

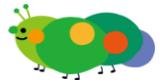
食品等に発生するコナダニ、衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど、家庭内に生息するダニとは種類が異なります。

潜伏期間は？

6日~14日

症状は？

原因不明の発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)が中心です。時に頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、けいれん、昏睡)、リンパ節腫脹、呼吸器症状(咳など)、出血症状(紫斑、下血)を起こします。



予防するには？

マダニに咬まれないようにすることが重要です。マダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意しましょう。

◎草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくすることが大事です。

◎屋外活動後はマダニに刺されていないか確認してください。

◎吸血中のマダニに気がついた際は、できるだけ病院で処置してもらいましょう。無理に引き抜くとマダニの一部が皮膚の中に残る場合があります。

◎マダニに咬まれた後に発熱等の症状が出た場合は、病院を受診しましょう。

【問い合わせ先】

各区保健福祉センター

おおさかしほけんじょかんせんしょうたいさくか

大阪市保健所感染症対策課 Tel 06-6647-0656

Fax 06-6647-1029